



令和5年度日事連建築賞

日事連建築賞選考委員会

委員長 松村秀一

早稲田大学理工学術院総合研究所上級研究員・
研究院教授

委員 石坂 聡

国土交通省住宅局長

伊藤香織

東京理科大学理工学部教授

加茂紀和子

(株) みかんぐみ一級建築士事務所

中谷正人

建築ジャーナリスト

原田真宏

芝浦工業大学建築学部教授、
(株) マウントフジアーキテクツスタジオ
一級建築士事務所

丸川真太郎

日事連前副会長、(株) 丸川建築設計事務所

本連合会では、優れた建築作品を設計した建築士事務所を表彰することにより、建築士事務所の資質の向上に資することを目的に、毎年「日事連建築賞」を実施しています。

本年度は、一般建築部門 72 点、小規模建築部門 97 点の合計 169 点の応募があり、単位会での第 1 次審査を経て、29 単位会から日事連に一般建築部門 25 点、小規模建築部門 30 点、合計 55 点の建築作品の応募がありました。

6 月 23 日に 1 回目の選考委員会を開催、第 2 次審査を行い、受賞候補作品を選定しました。7 月 5 日から 8 月 9 日にかけて、一般建築部門および小規模建築部門から合計 9 作品の現地審査を行いました。

8 月 9 日の最終選考委員会において討議・検討の結果、国土交通大臣賞と日事連会長賞を選定しました。その後、さらなる討議・検討の結果、一般建築部門から 4 作品、小規模建築部門から 3 作品を優秀賞とし、優秀賞に準ずるものとして、一般建築部門および小規模建築部門からそれぞれ 5 作品を奨励賞に選定しましたので、以下に紹介します。

一般建築部門： 延面積が 1,000㎡を超え 20,000㎡以下の建築物
小規模建築部門： 延面積が 1,000㎡以下の建築物（戸建住宅を含む）

優秀賞以上の作品については、本誌 11 月号から始まる連載「令和 5 年度日事連建築賞作品紹介」にて、図面とともに詳細記事を掲載する予定です。11 月号は国土交通大臣賞、12 月号は日事連会長賞、1 月号以降は優秀賞の作品を紹介します。

国土交通大臣賞 | 一般建築部門 (1 点)

ひがしたていし

東立石保育園

(株) 相坂研設計アトリエ | 東京会

日事連会長賞 | 小規模建築部門 (1 点)

吉田村 Village

(有) アトリエ慶野正司 | 一級建築士事務所 | 栃木会

優秀賞 | 一般建築部門 (4 点)

柳川市民文化会館 水都やながわ

一級建築士事務所 (株) 日本設計 | 九州支社 | 福岡会

やまいからし

山五十嵐こども園

(株) 東海林健建築設計事務所 | 新潟会

Port Plus

(株) 大林組一級建築士事務所 | 東京会

歳吉屋 -BYAKU Narai-

(株) 竹中工務店東京一級建築士事務所 | 東京会

優秀賞 | 小規模建築部門 (3 点)

みなみあいづ森と木の情報・活動ステーション きとね

(株) はりゅうウッドスタジオ / 福島県建築設計協同組合 | 福島会

北海道地区 FM センター

(株) 竹中工務店北海道一級建築士事務所 | 北海道会

ニセカイジウタク

(株) 横井創馬建築設計事務所 / 佐瀬和穂建築設計事務所 | 東京会

奨励賞 | 一般建築部門 (5 点)

流山市立おおぐろの森中学校

一級建築士事務所 (株) 日本設計 | 東京会

みどり市立笠懸西小学校

(株) 石井設計 | 群馬会

近畿大学 E 館 (KDIX)

(株) NTT ファシリティーズ一級建築士事務所 西日本事業本部 | 大阪会

大同大学 X 棟

(株) 日建設計一級建築士事務所 | 愛知会

三宅町交流まちづくりセンター MiiMo

ジオ・グラフィック・デザイン・ラボ | 大阪会

奨励賞 | 小規模建築部門 (5 点)

四国村ミュージアム「おやねさん」

空間構想一級建築士事務所 | 東京会

TSUBOMI/ そだちのシェアステーション

(同) 伊藤潤一建築都市設計事務所 | 神奈川会

花やさとし サークルロッジ

(株) 若柳建築事務所 / (株) 大山都市建築設計 | 茨城会

HOUSE F

(株) かまくらスタジオ一級建築士事務所 | 千葉会

飛子保育園

(株) INTERMEDIA | 長崎会



国土交通大臣賞 | 一般建築部門

ひがし たて いし
❖ 東立石保育園 ▶ (株) 相坂研介設計アトリエ | 東京会

東京都葛飾区の密集市街地に立つ保育園。老朽化した区立施設の更新にあたる民営化プロポーザルに事業者とともに応募した。旧園の歴史や周辺環境など過去を引き継ぎ、現代の複雑なニーズや区および都の審査項目を満たすばかりでなく、未来の子どもたちに愛され、地域に頼られる園を実現させるべく、園児がのびのび遊べて保育士も保護者も安心できる「家」、施設全体で体を動かし考える力を養う「公園」、命の尊さや食への感謝を知る「学び舎」、近くを流れる天井川の氾濫などの災害時には地域の拠り所となる「砦」の、4つを兼ねる建築を提案し、選定された。

構造は、水圧を受け流す放射状の壁柱とフラットスラブによるRC造を選択し、高さ10mの中に3層を収めつつ、ほとんどの保育室をGL+3.7mの2階に持ち上げて水害に備えた。平面は、近隣住戸への防音・プライバシー配慮および管理上の視認性から、外に閉じて中庭を囲む形式のうち、隣接する公園のみに開いたC型とした。

建物全体を行き止まりなく巡らせた動線は、常時は子どもを飽きさせない遊びのため、非常時は垂直の管理動線と合わせて、火災時は下、水害時は上へ逃げられる複数のルートを用意し、避難安全性も担保している。



公園に開かれ三方に閉じた配置



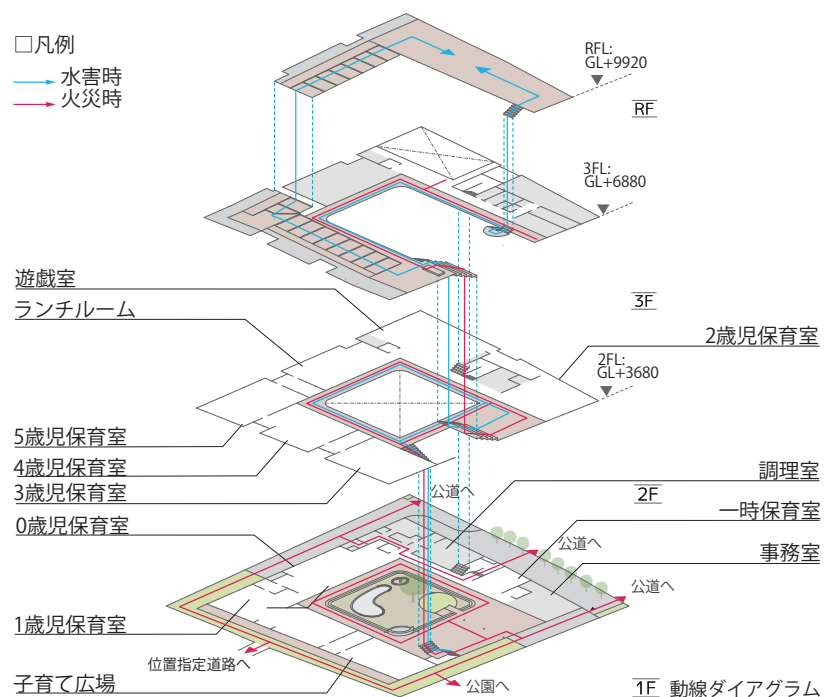
2 層吹き抜けの広々とした遊戯室



建築の構造体を生かした遊具

らせん状に屋上まで上昇する緩勾配のスロープや広い階段は、階下に年齢差に応じた保育室の天井高や防災備蓄庫を生み出しながら、被災時には 2 階ひな壇とあわせて、165 名の園児と職員、地域住民を含めた 200 ～ 300 人が全員腰掛けながら救助を待つことができる設えとなっている。

建設地 東京都葛飾区
用 途 保育所
構 造 RC 造、一部 S 造
階 数 地上 3 階
敷地面積 1,296.63㎡
建築面積 779.81㎡
延面積 1,380.58㎡





日事連会長賞 | 小規模建築部門

❖ 吉田村 Village ▶ (有) アトリエ慶野正司 一級建築士事務所 | 栃木会

計画地の現下野市に位置する旧吉田村は市町村合併によりその名が消え、また地域コミュニティの拠り所であった旧農協が撤退し、時代の変遷とともに“むら”の活気や郷土愛すら薄れつつあった。この状況を憂えた地元の有志で地域活性化プロジェクト「吉田村プロジェクト」を発足。これまでさまざまな活動を経て、旧農協跡地に残された大谷石蔵を拠点施設「吉田村 Village」として整備し、活動を本格化してきた。

改修する築 80 年の石蔵は、かつての活気ある“むら”のシンボルであり、その記憶を映す魅力ある産業遺産であった。コンセプトを“石蔵の歴史をつなぐ”とし、可能な限りありのままの姿を残しながら新たな価値（機

能）を付加することで、地域住民と来村者のハブとなる施設を目指した。

組積造である石蔵は現行の構造基準強度を担保できないため、内部に鉄骨フレームを挿入し鉄骨造へと変えることで現行の基準を満たし、大谷石は構造材から外壁材へと役割をつなぎ、石蔵は新たな歴史を刻み始めた。

吉田村プロジェクトは、今後集落全体を対象として活動を加速させていき、次のフェーズでは、空き家活用 of アルベルゴ・デフーゾ（地域分散型滞在）の展開、地元農家参加のアグリツーリズムなどを行う予定としている。現在、驚くほど多くの来村者を迎え、それに伴い住民の参加意識も高まり、地域の個性を活かした進化した地域コミュニティが形



既存躯体を支える鉄骨フレーム

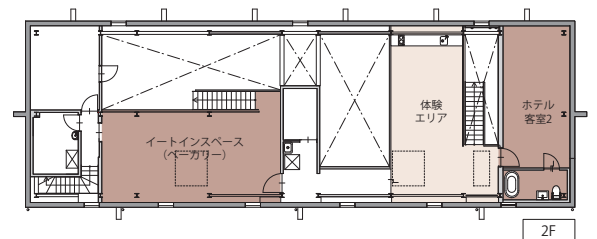
旧農協跡地に残された大谷石蔵を整備し、
地域住民と来村者のハブとなる施設を計画



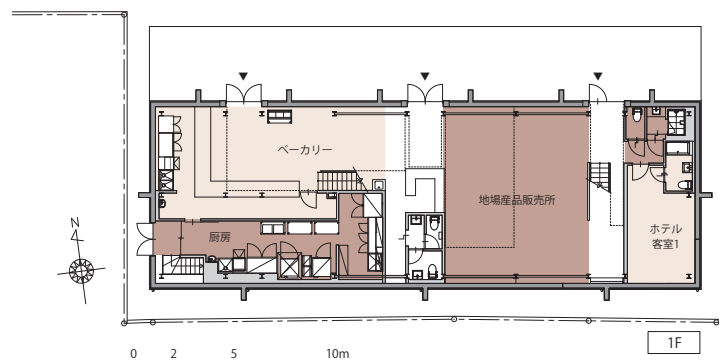
2階体験エリア



配置図



2F



1F

平面図

成されてきている。そして、少しずつだが地域住民それぞれの「吉田むら暮らし」が育ちつつあり、ここで暮らし続ける新たな価値を見だし始めている。将来にわたり持続発展していくのは、経済に支えられた自信と誇り、そして楽しさを共有する住民と、その価値に期待する来村者であるということを理念とし、活動を続けている。

建設地	栃木県下野市
用途	ホテル、物品販売業を営む店舗、飲食店（パン屋）
構造	S造、一部木造
階数	地上2階
敷地面積	785.74㎡
建築面積	248.43㎡
延面積	418.60㎡



「水上に浮かぶ柳川の舞台」を体現する外観。ガラス張りのファサードに市民活動が表出する

❖ 柳川市民文化会館 水都やながわ ▶ 一級建築士事務所(株)日本設計 九州支社 | 福岡会

福岡県有数の観光地で「どんこ舟」の川下りで有名な水郷・柳川の掘割に面した敷地に立つ劇場建築。水面に反射する伸びやかな水平底とガラスファサードにはさまざまな市民活動が表出し、コンセプトの「水上に浮かぶ柳川の舞台」を体現している。掘割沿いの既存の木立を生かしながら、それらが水面やガラス面に映り込むことで、過去と未来をつなぐ新しい柳川の風景を創り出した。さまざまな市民活動が内外に展開され、新しい使い方を市民自らが見つけ出し、常に居場所となるような建築を目指した。



掘割の水面のきらめきや木立を想起させる柳川らしいデザインの「白秋ホール」

建設地 福岡県柳川市
用途 劇場
構造 S 造、一部 SRC 造、RC 造
階数 地上 4 階
敷地面積 14,633.57㎡
建築面積 4,149.31㎡
延面積 5,852.87㎡



木造平屋建ての園は、歩を進めるごとにパラパラとシーンやニッチを展開し、子どもたちに多様な拠り所を提供する

◆ やまい からし 山五十嵐こども園 ▶ (株)東海林健建築設計事務所 | 新潟会

「園を村のように作り、村を園のように育てる」ことをコンセプトとし、保育室さらには園舎、園庭を越えて村全体を一つの連続体とする、子どもたちの学びと遊びに寄り添う大きな保育環境の構築を目指した。敷地は自然豊かな砂丘の頂にあり、大きな材が運べない中で、頂点が上と下を向いたトラスをそれぞれ現地で組み合わせてトラス屋根の連続を作った。その交点を間仕切壁の上からずらして載せることで、各室ごとに表情の異なる環境を作り出すと同時に上部に抜けを作り、各室を緩やかにつなげた。

建設地 新潟県新潟市西区
用途 幼保連携型認定こども園
構造 木造
階数 地上1階
敷地面積 6,995.16㎡
建築面積 1,586.56㎡
延面積 1,101.58㎡

2歳児室からほふく室を見通す。隣室同士の空気や気配が上部でつながる





吹き抜けのある外部テラスから自然環境を取り込む心地よいワークスペース

1階に日本初の3時間耐火柱を採用、芝生を植えた前面空地进行開放し、街と建築を緩やかにつなげる

❖ Port Plus ▶ (株)大林組一級建築士事務所 | 東京会

木構造体の架構剛性と耐火性能などの技術の応用により実現した、日本初の高層純木造耐火建築物で、木の材積率は0.5を超え、ライフサイクルアセスメント^{*}でS造の40%、RC造の70%のCO₂削減に寄与し、木材利用の建築の可能性を示している。「これからの知を育む場」をコンセプトに掲げ、木材を活かし

たバイオフィリックデザインとIoTを融合させ、健康増進と知的生産向上を実現する研修所として計画した。環境配慮のデザインは、建築本体だけでなく、家具や消耗品に至るまで徹底した。

^{*}製品の原材料の採取から製造、使用、廃棄に至るすべての過程を通して、環境に与える負荷の大きさを定量的に評価する手法

建設地	神奈川県横浜市中区
用途	研修所
構造	木造、一部RC造
階数	地上11階、地下1階
敷地面積	563.28㎡
建築面積	397.58㎡
延面積	3,502.87㎡



外観：重要伝統的建造物群に登録された外観は保存し、新たな照明と間口を活かしたロビーを設置したことでまちの活性化に寄与する仕掛けとした

◆としよし や 歳吉屋 -BYAKU Narai- ▶ (株) 竹中工務店東京一級建築士事務所 | 東京会

木曽路・奈良井宿にある築 200 年のかつての造り酒屋「杉の森酒造」を旅館・レストラン・浴場に改修するプロジェクト。発見された明治時代の図面や現地の痕跡を基に、商家の特徴的な間取りと照らし合わせ、ハレ／ケ、ミセ／オクなどの文脈を読み解き、客室 8 室にすべて異なるテーマを設定した。外観や構造体の保存規制の中で耐震性能や温熱環境、防災、遮音性能の向上を図るとともに、古民家の持つ歴史的背景や空間などと丁寧に対話を繰り返し、残すものと新しく挿入するものを厳選しデザインへと昇華させた。

建設地 長野県塩尻市
用途 旅館、飲食店舗、公衆浴場、工場
構造 木造
階数 地上 2 階
敷地面積 1,816.37㎡
建築面積 1,015.80㎡
延面積 1,180.14㎡



表通り・旧中山道に面する客室：開口六間を登り梁で支える無柱のワンルームとして設えた



きとねサロンからホールを見る

❖みなみあいづ森と木の情報・活動ステーション きとね

▶ (株) はりゅうウッドスタジオ／福島県建築設計協同組合 | 福島会

南会津町の林業の中核となる情報発信拠点施設。事務室や展示アルコーブ、水回りなどの機能の入った縦ログ構法の箱基壇上に、120mm × 240mm の杉による重ね梁が 10 本南北に貫いている。基壇の間には高さ 4.5 m の一室空間が現れ、多目的な利用が想定される。重ね梁はローテクで作る集成梁であり、積雪 2m に耐える。曲げモーメントが大きな所には唐松の飼い木をせん断キーとして設け、大スパンを飛ばした。基本設計初期に地場で採れる材寸について情報共有し、BIM を活用した木割の調整などを経て、ほぼ全ての材料を地域材とすることができた。



南側よりエントランスを見る

建設地	福島県南会津町	敷地面積	9,292.48㎡
用途	集会場（公民館）	建築面積	1,121.76㎡
構造	木造	延面積	865.31㎡
階数	地上 2 階		

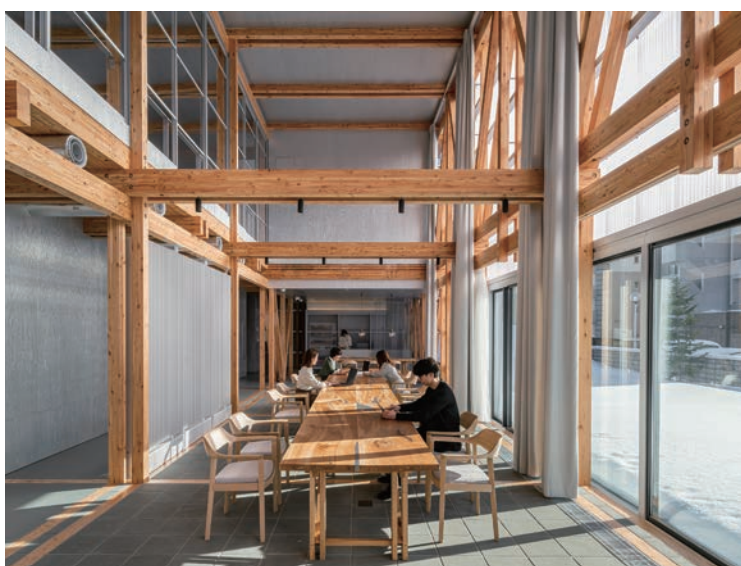


温熱入れ子構成を半透明のファサードで包み込み、新しい中間領域を創出

❖ 北海道地区 FM センター ▶ (株) 竹中工務店北海道一級建築士事務所 | 北海道会

亜寒帯気候における非住宅木造のプロトタイプを目指したオフィス。内部に微気候空間を作り出す温熱入れ子構成を半透明のファサード（高断熱中空ポリカーボネート）で包み込み、新しい中間領域（亜寒帯の縁側）を創出している。道産材の一般流通材（120角）を用いた非住宅木造を目指すため、柱、梁、筋交いを二重化することで、住宅スケールよりも広い $3.64\text{m} \times 4.55\text{m}$ のグリッドを構成できるダブルティンバーを開発し、オフィスに対応できるスパン構成を可能にした。中間領域の活用により、快適な ABW[※]空間を実現している。

※アクティビティ・ベースド・ワーキングの略。従業員が自律的に業務内容や気分に合わせて、働く時間や場所を自由に選択するワークスタイル



柱、梁、筋交いを二重化し、 $3.64\text{m} \times 4.55\text{m}$ の平面グリッドを構成できるダブルティンバーを開発

建設地	北海道札幌市中央区	敷地面積	1,897.41㎡
用途	事務所	建築面積	480.45㎡
構造	木造	延面積	856.46㎡
階数	地上2階		



木のグリッドに自由にフロアを架けていく。準防火地域3階建てで120角を用いることで真壁を実現した

周囲には庇と土間のパーゴラが回り、
外の世界との結節点になっている

❖ ニセカイジュウタク ▶ (株) 横井創馬建築設計事務所／佐瀬和穂建築設計事務所 | 東京会

現代の二世帯住宅の姿を示した計画。ライフスタイルや社会の変化など、移り変わる環境に柔軟に応答する住宅を目指し、住宅の中に二つの可変的な世界（領域）を作り出し、両親と夫婦、住宅と店舗などさまざまな二つの世界観を一つの住宅の中に共生させている。

二つの玄関から伸びる部屋の連続は、二重らせんのように登ってから降りてくる。途中どこかの扉を施錠するだけで二つの世界が分節され、その組み合わせは100通りを超える。部屋の連続は吹き抜けを介するため、密実な部屋同士に不思議な距離感を生み出した。

建設地	東京都
用途	一戸建ての住宅
構造	木造（軸組工法）
階数	地上3階、塔屋1階
敷地面積	81.43㎡
建築面積	48.29㎡
延面積	115.09㎡



奨励賞 | 一般建築部門 (5点)

❖ 流山市立おおぐろの森中学校 ▶ 一級建築士事務所(株)日本設計 | 東京会

「高台の緑に溶け込む森の中の木の学び舎」として、県産材や姉妹都市の地域材を活用した木造校舎とした。大畔^{おおぐろ}の森の緑が、前年に竣工した小学校や歩道に滲み出すよう棟配置に配慮した。駅周辺の人口急増に対応した、フレキシブルな教室配置とし、木構造現しの明るい普通教室や家具サイズの木構造で作る図書室、樹状の木造トラスを持つホールなど木の持つ優しさを活かして生徒の居場所づくりを行った。耐火木造棟の設計、高耐力壁の開発や、CLTの床や外壁での利用など都市木造へ展開可能な技術を用いて校舎づくりを行った。

建設地 千葉県流山市
用途 中学校
構造 木造、一部RC造、S造
階数 地上3階、塔屋1階
敷地面積 26,733.69㎡
建築面積 7,909.35㎡
延面積 14,568.34㎡



❖ みどり市立笠懸西小学校 ▶ (株)石井設計 | 群馬会

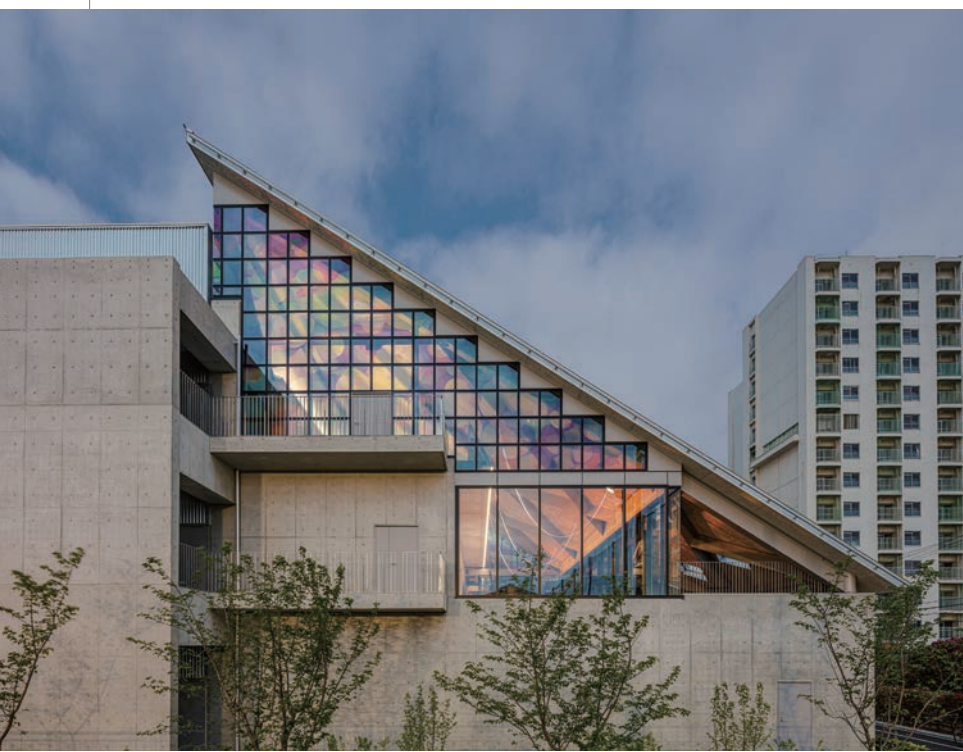


三半空間(半連続空間、半屋外空間、半管理空間)という3つの空間の考え方を基に、子どもたちの主体性、利他性、探求性の成長を促す、「みどりの学び舎」づくりのプログラムを計画し、フレキシブルで多様性のある豊かな学習空間を実現した。また子どもたちが触れる身近な部分にはみどり市産材の

杉材を使用した、木のおいやぬくもりを感じられる木質化された居心地よい活動空間をつくるとともに、地中熱、雨水、太陽熱、太陽光発電、自然換気システムなど自然エネルギーを活用したさまざまな設備の導入により、子どもたちの環境学習への興味を促すエコロジーな学校づくりを計画した。

建設地 群馬県みどり市
用途 小学校(校舎・アリーナ・倉庫)、児童福祉施設等(学童保育所)
構造 RC造、一部S造
階数 地上3階
敷地面積 20,637.12㎡
建築面積 5,907.21㎡
延面積 10,887.56㎡

❖ 近畿大学 E 館 (KDIX) ▶ (株) NTT ファシリティーズ一級建築士事務所 西日本事業本部 | 大阪会



キャンパスの北端に位置する情報学部のための新校舎。全研究室を一体空間とすることで研究室間の垣根を超え、新結合を生み出す拠点づくりを目指した。吹抜けを介した2・3階に断面的に連続する一体研究室には光・風・緑などの自然要素を内部へ取り込む屋外テラスを配し、壁のない大空間を心地よいスケールに柔らかく分節している。近隣環境に配慮した北側勾配の大屋根の下で多様な環境の居場所を創り出した。

建設地	大阪府東大阪市
用途	学校（大学）
構造	RC造、一部S造
階数	地上4階
敷地面積	47,442.67㎡
建築面積	3,306.02㎡
延面積	8,702.32㎡

❖ 大同大学 X 棟 ▶ (株) 日建設計一級建築士事務所 | 愛知会



老朽化した建築学科校舎の移転・建替えで主キャンパスと道路を隔てた敷地に建設された。長さ66m、4層吹抜けの筒状の空間「Dクロスモール」を校舎の要として、その吹抜け越しに学生と学生、先生が互いに見合う空間をつくるとともに、「Dクロスモール」の端部は、一方を主キャンパスに、

もう一方を社会に大きく開き、学生のアクティビティが見える大窓とした。

低層階の実験室や講義室前の列柱上に上層階の研究室の日射を遮る深い軒庇を配し、その水平庇と「Dクロスモール」の大窓が対比するアイコンックな外観とした。

建設地	愛知県名古屋市中区
用途	大学
構造	S造、一部CFT造
階数	地上4階
敷地面積	13,767.96㎡
建築面積	5,198.51㎡
延面積	15,391.69㎡



❖ 三宅町交流まちづくりセンター MiiMo ▶ ジオ・グラフィック・デザイン・ラボ | 大阪会

地形のような大らかな多世代の居場所作りを目指した計画。内部空間は空間配置や可変性により、空間や機能のつながり方や人の居方の選択肢を用意することで、さまざまな活動や運営を支える場所を生み出した。また、環境デザインの関係から、半屋外空間や屋根の向きは最も重要な要素と捉えた。大屋根の下の大階段は、自然の地形のように、雨の日でも子どもたちが遊べる場所を創り出しており、階段を下りて広場に直接出られるようにするなど、人同士の重層的な関係性を作りながらその場所の価値を形成している。

建設地 奈良県三宅町
用途 地域子育て支援拠点施設
構造 S造
階数 地上3階
敷地面積 1,542.28㎡
建築面積 967.02㎡
延面積 1,881.56㎡



奨励賞 | 小規模建築部門 (5点)

❖ 四国村ミュージアム「おやねさん」▶ 空間構想一級建築士事務所 | 東京会

四国の民家を収蔵し後世に伝える屋外博物館「四国村」の入口と出口の空間を豊かにするためのプロジェクト。敷地は国の史跡・天然記念物の屋島の麓にあり、地山の毀損を最小限にするため、建物の機能を整理した上で、西側は半屋外平屋、東側は2階建てとした。東西で求められる屋根の高さ、人の出入りがある南側の軒の高さ、流れ坂の勾配に対応した北側の軒の高さ、それぞれが異なるため、47組の木の合掌の一つ一つは単純な切妻形状でありながら、全体としては生き物のような有機的なシルエットとなった。

建設地 香川県高松市
用途 博物館その他これらに類するもの
構造 RC造、一部S造
階数 地上2階
敷地面積 54,907.76㎡
建築面積 377.80㎡
延面積 441.08㎡



❖ TSUBOMI/ そだちのシェアステーション ▶ (同) 伊藤潤一建築都市設計事務所 | 神奈川



虐待や貧困などで食事や入浴などが困難な要支援児童を主体とした、地域における子どもの第三の居場所。寺社を想起させる反りのある木架構屋根の交流スペース、古材を用いた内外装は、地域住民と施設との心のバリアーをなくすような雰囲気醸し出している。ダイナミックな大屋根は、静かな図書学習室から1階の動的交流スペース、軒下空間まで連続する多様な場の一体感を生み出し、2階は宿泊を伴う子どもを保護する特性上、心身のストレスから子どもを守り、癒やしを提供するための仕掛けを施した計画となっている。

建設地	東京都清瀬市
用途	寄宿舎、児童福祉施設等 (入所する者の寝室がないものに限る)
構造	木造(軸組構造)
階数	地上2階
敷地面積	974.65㎡
建築面積	253.36㎡
延面積	395.73㎡

❖ 花やさと山 サークルロッジ ▶ (株) 若柳建築事務所 / (株) 大山都市建築設計 | 茨城



隣接のフラワーパークのリニューアルに合わせ、石岡市ふれあいの森を里山の魅力を再発見・再発信することのできる観光拠点に一新した計画。敷地は、保安林に囲まれた丘陵地の最頂部に位置し、建物本体を含めグランピング・ウッドデッキの配置では環境の変化や樹木の伐採が最小限となるように配慮した。広場に残した桜の木も施設のシンボルとなっている。建物は宿泊棟、トイレ・シャワー棟、管理棟の3棟で構成し、地上部は外廊下、屋上は筑波山や「やさと」の風景、星空を眺めるサークルデッキでひとつながりになっている。

建設地	茨城県石岡市
用途	宿泊施設(簡易宿所)
構造	木造
階数	地上1階
敷地面積	9,026.12㎡
建築面積	987.77㎡
延面積	680.67㎡



❖ HOUSE F ▶ (株) かまくらスタジオ一級建築士事務所 | 千葉会

設計者の自宅兼事務所。1階の事務所兼カフェを、街の人も気軽に立ち寄れる場所とすることで、地域のつながりを育むことを試みた。共有の舞台として森を建築の手本にし、1階は森の足元のように街と直接的なつながりを持った開けた場所にし、2階から上は、前面道路を通る誰もが植物の風景を共有できるように、南からの太陽光が内外を貫通する斜めの抜けを作り、その抜けに植物を配置した。テラスと内部空間がサンドイッチ上に配置され、森の木々の間に住まうような空間体験が得られるようになっている。

建設地 千葉県流山市
用途 一戸建ての住宅
構造 S造
階数 地上3階
敷地面積 135.79㎡
建築面積 80.30㎡
延面積 168.79㎡



❖ とびこ 飛子保育園 ▶ (株) INTERMEDIA | 長崎会

谷状の地形に添って家々が立ち並ぶ、人口約550名の漁村集落に立つ小さな保育園。特徴的な集落の佇まいに対し、建物の形状を集落のボリュームに近い形で分節し、集落の建ち方と同じように谷状の地形に沿わせる形で9.5度ずつ偏心させた。その中央にある遊戯室をハの字状平面にし、地域に開いていく形にした。遊戯室は30名の園児たちの日常的な活動場所であり、お遊戯会や各種式典、住民とのイベント・交流スペースにもなる。集落の象徴となるような場を目指しつつも、集落との共存・調和を図れるように考えた。

建設地 長崎県雲仙市
用途 認可保育園
構造 木造
階数 地上1階
敷地面積 1,914.16㎡
建築面積 477.22㎡
延面積 421.33㎡

